



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年6月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年6月26日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 株式会社ダイナムと災害時等における施設利用に関する協定を締結します
(資料1)
- 2 「広報しぶかわ」市民アンケートを実施します(資料2)
- 3 渋川市おくやみハンドブックの配布を開始します(資料3)
- 4 土砂災害危険箇所等の一斉点検結果をお知らせします(資料4)
- 5 北橘中学校のPTA教養講座に日本のまんなか しぶかわ応援大使の
心奏(らら)さんが講師として参加します(資料5)

その他資料提供

- ・令和5年度第1回渋川市総合教育会議を開催します(資料6)

○次回開催予定

日時：令和5年7月3日(月) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市 長 の 主 な 週 間 日 程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
6月26日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 終了後	(株)ダイナムとの災害時等での施設利用の協力に関する協定式 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	危機管理室 政策戦略課
	18:00	第68回新規就職者激励大会	ホワイトパーク	商工振興課
6月27日(火)	8:00	県知事との朝食会	群馬会館	秘書室
	13:30	広域組合管理者・副管理者会議	広域組合	広域組合
6月28日(水)	11:00	オペラ歌手オクサーナ・ステパニユック氏 来庁	市役所本庁舎	秘書室
	13:30	渋川市と(株)山田製作所との包括連携協定締結式	市役所本庁舎	政策戦略課
	14:30	八峠操氏(日本画家)の作品寄贈に伴う親族の市長表敬訪問	市役所本庁舎	美術館
6月29日(木)	10:00	広域組合情報公開審査会及び個人情報保護審査会委員委嘱式	広域組合	広域組合
	13:30	渋川市生涯学習推進協議会	市役所第二庁舎	生涯学習課
6月30日(金)	9:00	グッドドライバー・レッスン in 渋川	市民会館	危機管理室
	13:30	第73回社会を明るくする運動渋川地区推進委員会	金島ふれあいセンター	地域包括ケア課
	17:00	子持産業振興(株)取締役会	子持行政センター	農政課
7月1日(土)				
	19:00	令和5年度隊友会渋川支部総会後の懇親会	ホワイトパーク	危機管理室
7月2日(日)	8:30	TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2023 in 渋川伊香保 開会式	渋川スカイランドパーク 第4駐車場	スポーツ課
7月3日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
	14:30	社会を明るくする運動メッセージ伝達式	市役所本庁舎	地域包括ケア課

株式会社ダイナムと災害時等における施設利用に関する協定を締結します

渋川市は、株式会社ダイナムと災害時における施設の一部利用に関する協定を締結します。

株式会社ダイナムは、東日本大震災時に仮設トイレをいち早く提供したり、食品の無料配布など行い、災害時における社会貢献活動を積極的に行っています。これまでに全国200以上の市町村と災害応援協定を締結しています。

1 趣 旨

株式会社ダイナムは、チェーン型パチンコホールを経営する企業です。東日本大震災時に仮設トイレをいち早く提供したり、食品の無料配布を行うなど、災害時における社会貢献活動を積極的に行っています。また、これまでに全国200以上の市町村と災害応援協定を締結しています。

この度、渋川市内にチェーン店があることから、株式会社ダイナムから申し出があり、渋川市と災害発生時における応援協定を締結することになりました。

この協定により、災害発生によって車中泊をする人が、株式会社ダイナム群馬渋川店（渋川市白井2138）の駐車場の一部とトイレが使用できるようになります。

渋川市がこれまでに締結した災害応援協定では、物資提供によるものが多く、施設の一部利用に関する協定は、今回が初となります。今後も災害時に公共施設だけでなく、民間施設も利用できるような取り組みを進めます。

2 協定締結先 株式会社ダイナム 代表取締役 保坂 明 (所在地：東京都荒川区西日暮里2-27-5)

3 締結式の開催

(1) 日 時 令和5年6月26日(月) 午後1時から

(2) 場 所 渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

(3) 出席者

・株式会社ダイナム

群馬渋川店 ゼネラルマネジャー 碓 真也（いかり しんや）氏

群馬渋川店 ストアマネジャー 瀬戸山 聡（せとやま さとし）氏

経営企画部 地域共生担当 女屋 幸恵（おなや ゆきえ）氏

・渋川市：市長、総合戦略部長、情報防災部長、危機管理室長

4 協定の主な内容

(1) 駐車場の一部（200台分）を車中泊者に提供する

※災害発生時に、渋川市から株式会社ダイナムに連絡を取った後で利用可能となります。利用希望者には、防災無線や市ホームページ、SNSで周知します。

(2) トイレを車中泊者に可能な範囲で提供する

5 その他

- (1) 渋川市が災害応援協定等を締結するのは、昨年4月18日に東日本電信電話株式会社と締結をしたのに続き44件目となります。
- (2) 株式会社ダイナムが、県内の市と締結したのは、安中市に続き2件目となります。

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

危機管理係長 兵藤 正和（内線2185）

「広報しぶかわ」市民アンケートを実施します

渋川市は、令和3年度に「広報しぶかわ」に関する市民アンケートを実施し、その結果を紙面の編集に反映させてきました。この度、新型コロナが5類となり、市民の活動状況や要望事項が2年前と変わりつつあると判断し、市民に対し、よりの確に、分かりやすく市の情報を伝え、親しまれる広報紙を目指すために、市民アンケートを実施します。

1 概 要

渋川市は、市民に親しまれ、読まれる広報紙を目指して、令和3年度に市の広報紙「広報しぶかわ」に関する市民アンケートを実施しました。その結果を受けて、令和4年度から広報紙の文字を大きくし、コーナーを新設するなどの対応を行ったほか、当時最も読者の関心が高かった、新型コロナウイルスに関連する記事を中心に編集を行ってきました。この度、新型コロナウイルスの取扱いが5類に変更され、市民活動が活発になることや、市への要望事項が変化することを想定して、今後の広報紙の編集方針の参考とするために、市民アンケートを実施します。

2 アンケート調査対象

- (1) 市民
- (2) 各自治会長

3 調査方法

- (1) 市民＝市ホームページにアンケートフォームを掲載し、市民にアクセスしてもらい、意見を入力し、送信してもらいます
- (2) 各自治会長＝市民協働推進課が実施する自治会長へのアンケートに、広報紙に関する項目を追加して、調査を行います

4 調査期間

- (1) 市民＝令和5年6月20日(火)～7月31日(月)
- (2) 各自治会長＝令和5年6月中旬～下旬(予定)

5 アンケート内容

- (1) 市民
 - ① 市政情報の入手方法について
 - ② 「広報しぶかわ」を全部読んでいるかについて
 - ③ 「広報しぶかわ」でよく読む記事について
 - ④ 「広報しぶかわ」のページ数について
 - ⑤ 「広報しぶかわ」の読みやすさについて
 - ⑥ 「広報しぶかわ」の発行回数について
- (2) 各自治会長

広報紙の発行を月1回にすることの影響を示した上で、広報紙の発行について「月1回がいい」または「月2回がいい」を選んでもらいます。

6 アンケート結果の主な活用方法

- (1) ページ数やフォーマットなど、基本的編集方針への反映
- (2) 特集する記事の選定
- (3) 新たな連載記事の選定
- (4) 広報紙の発行回数の検討

7 周知方法 「広報しぶかわ」 7月1日号及び市ホームページに掲載

参考

前回調査（令和3年度実施）の主な調査結果

1 アンケート調査対象

- (1) 市民
- (2) 各自治会長

2 回答状況

- (1) 市民＝362件（市ホームページに掲載したアンケートフォームからの回答）
- (2) 各自治会長＝100人（郵送による回答、105人中100人：回答率95.2%）

3 市民・自治会長共通設問の結果概要

- (1) 市政情報の入手方法について
市政等の情報は、市民の60%、自治会長の79%が広報紙から得ている。
- (2) 「広報しぶかわ」を全部読んでいるかについて
「全ての記事を読んでいる」と「だいたい読んでいる」を合わせると、市民の63%、自治会では80%になる。多くの人が手にして開いている状況にある。
- (3) 「広報しぶかわ」でよく読む記事について
複数回答の中で、最も多くの割合を占めたのが「新型コロナ関連の記事」で、市民が66%、自治会長は76%だった。
- (4) 「広報しぶかわ」のページ数について
市民・自治会長ともに8割以上が「ちょうどいい」と感じている。
- (5) 「広報しぶかわ」の読みやすさについて
市民・自治会長ともに8割以上が「読みやすい」と感じている。
「読みにくい」と回答した人の意見では、「文字が小さい」、「記事が詰まっている」などの理由が挙げられた。
- (6) 「広報しぶかわ」の発行回数について
市民は「月2回がよい」が過半数の52%だったが、自治会は「月1回がよい」が過半数の53%となった。市民は新鮮でタイムリーな情報を求めているものの、配布を担当する自治会では月1回を望む傾向がある。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

広報係長 熊迫 徳三（内線2416）

渋川市おくやみハンドブックの配布を開始します

渋川市は、ご家族等が亡くなった後の手続きが複雑で、複数の窓口にわたることが多く、どこでどのような手続きをすればいいか分からないという市民の声を受け、ご遺族の負担を減らすことができるよう、今年度新たに、各種手続きについて分かりやすくまとめた「おくやみハンドブック」を作成しました。

7月から、死亡届を提出されたご遺族や代行の葬祭事業者へ配布を開始します。

1 概 要

渋川市は、ご家族等が亡くなった後の手続きが複雑で、複数の窓口にわたることが多く、どこでどのような手続きをすればいいか分からないという市民の声を受け、ご遺族の負担を減らすことができるよう、市役所内外の各種手続きについて分かりやすくまとめた「おくやみハンドブック」を作成しました。

このハンドブックは、市民サービスの向上及び経費の削減を図るため、株式会社鎌倉新書との協働により作成したものです。同社が広告主を募集し、その広告収入で作成したため、市の財源負担はありません。

なお、渋川市は、複数の窓口での手続きや必要な来庁者の利便性を向上するために、一つの窓口で複数の手続きができる「総合型ワンストップサービスコーナー」を設置しています。令和4年度の死亡後の手続きに係る利用実績は、313件でした。

また、渋川市は、家族や大切な人に伝えておきたいことなどを書き留めておく「エンディングノート」の配布や、成年後見制度に関する支援など、市民一人一人に寄り添った施策を進めています。

2 主な掲載内容

市役所で行う主な手続き、市役所以外で行う一般的な手続き、専門相談窓口の案内、総合型ワンストップサービスコーナーの案内の他、相続についてや戸籍の請求に関するよくある質問などを掲載しています。

3 発行情報

- (1) 発 行 渋川市
- (2) 編集・制作 株式会社鎌倉新書
- (3) 発行年月 令和5年7月
- (4) 発行部数 1,500部

※渋川市における過去3年間の死亡届出件数は令和2年度1,105件、令和3年度1,225件、令和4年度1,327件です

- (5) 広告掲載 6企業

4 配布方法

死亡届出をされた方へ配布する他、市ホームページにも掲載します。

- (1) 配布対象 亡くなられた人の住所登録地が渋川市で、渋川市に死亡届出をした人
※その他、希望する人にも渡すことができますが、数に限りがあります。
- (2) 配布窓口 市役所本庁舎市民課、各行政センター（平日の開庁時間のみ）
※土・日曜日、祝日は、本庁舎の日直にて配布します（配布時間は午前8時30分～午後5時15分）
- (3) 配布開始日 令和5年7月1日(土)

5 その他

県内の市では、桐生市、伊勢崎市、沼田市、みどり市の4市が、事業者等の無償提供により「おくやみハンドブック」を作成しています。

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：市民課（電話0279-22-2459）

課長 斉藤 章吉（内線1110）

管理係長 渡邊 純子（内線1111）

資料4

土砂災害危険箇所等の一斉点検結果をお知らせします

渋川市は、集中豪雨や台風に伴う豪雨等が多くなる時季に先だって、市内の土砂災害危険箇所を一斉点検しました。延べ124箇所を点検し、水路内に泥等が堆積した箇所の土砂上げなどを行いました。

1 経 過

令和元年6月28日に赤城地内で発生したJR上越線の脱線事故に関して、国の運輸安全委員会の調査報告書では、事故の原因が渋川市による水路の管理不備にあるとの指摘がありました。また、令和3年7月3日には、静岡県熱海市で大規模土石流が発生しました。

これを受けて渋川市は、令和3年度に土砂災害警戒区域等における開発行為等についての洗い出しと点検を実施し、令和4年度からは、令和3年度に行った点検箇所に加えて、農業用水路等を含む土砂災害危険箇所の点検を行っています。令和5年度も集中豪雨や台風に伴う豪雨等が多くなる時季に先だって、市内の土砂災害危険箇所を一斉点検しましたので、その結果をお知らせします。

2 実施期間 令和5年5月22日(月)～6月2日(金)

3 点検体制 危機管理室、環境森林課、農政課、土木維持課、都市政策課

4 点検箇所 延べ124箇所

1	開発行為による大規模盛土造成地	9箇所
2	土砂災害警戒区域内の開発行為による盛土高2m超造成地	2箇所
3	豪雨時に警戒が必要な市道	12路線
4	農業用水路	33箇所
5	過去に土砂撤去対応があった農道	1路線
6	過去に土砂撤去対応があった土地改良区	4箇所
7	防災重点農業用のため池	18箇所
8	農業用のため池	8箇所
9	土砂災害特別警戒区域の太陽光発電施設	15箇所
10	斜面盛土	3箇所
11	治山事業	1箇所
12	土砂災害特別警戒区域等の伐採届	6箇所
13	令和4年7月豪雨による災害復旧	12箇所

5 点検結果

- (1) 異常なし＝119箇所
- (2) 水路内の泥等の堆積＝2箇所（土砂上げ実施済み）
- (3) 山林内の洗掘＝1箇所（対応予定）
- (4) 経過観察＝2箇所（関係所管へ報告済み）

6 前年の点検結果（点検箇所は124箇所）

- （1）異常なし＝120箇所
- （2）水路から溢水＝1 箇所
- （3）排水路詰まり＝1 箇所
- （4）計画以上の土砂搬入＝1 箇所
- （5）山林内の洗掘＝1 箇所

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

危機管理係長 兵藤 正和（内線2185）

北橘中学校のPTA教養講座に 日本のまんなか しぶかわ応援大使の心奏さんが 講師として参加します

渋川市のブランド力の向上及びイメージアップを図ることを目的として設置する「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の心奏（らら）さんが、市内北橘中学校の行事に講師として参加し、トークショーやバイオリンコンサートのほか、吹奏楽部との合奏などを行います。

1 概 要

渋川市立北橘中学校で、郷土愛の育成を目的に開催する「北橘中学校PTA教養講座」に、日本のまんなか しぶかわ応援大使の心奏さんが講師として参加します。

講座では、心奏さんのトークショーやバイオリンコンサートのほか、心奏さんと北橘中学校吹奏楽部との合奏（曲目「ふるさと」）などが行われます。

2 と き 令和5年6月29日（木） 午後1時20分～3時10分

3 と こ ろ 渋川市立北橘中学校体育館（渋川市北橘町真壁46番地）

4 内 容

- （1）開会のことば
- （2）学校長あいさつ
- （3）■心奏さんのトークショー&バイオリンコンサート
■合奏・合唱（曲目「ふるさと」）
 - ①心奏さんによる独奏
 - ②心奏さんと北橘中学校吹奏楽部による合奏
 - ③②に合わせて参加者全員で合唱
- （4）お礼のことば
- （5）閉会のことば

5 大使プロフィール

心奏さん（ヴァイオリニスト・歌手）

渋川市出身のアーティスト。音楽大学在学中からヴァイオリニストとして一流アーティストとの共演や多数のレコーディング、編曲を経験。2008年ボリジョイサーカス日本公演イメージソングで歌手としてもデビュー。ラジオパーソナリティを務めるなど、多方面で活躍中です。

令和4年7月1日に、日本のまんなか しぶかわ応援大使に就任し、現在2期目の活動をいただく中で、今回の事業にご協力いただく運びとなりました。



6 その他

- (1) 当日は、約280人(全校生徒、教職員、保護者)が参加予定です。
- (2) 当該行事は、郷土愛の育成を目的に、地元(渋川市)の人材等を講師に招き実施するものです。令和元年度～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止していました。昨年度は、伝統芸能「津久田人形劇」の関係者の皆さんを講師に開催しました。

■問い合わせ先

＜日本のまんなか しぶかわ応援大使について＞

総合戦略部 部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-22-2182）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

広報係長 熊迫 徳三（内線2416）

＜学校行事について（取材申し込みなど）＞

渋川市立北橘中学校（電話0279-52-2400）

担当：教頭 干川 多賀幸

令和5年度第1回渋川市総合教育会議を開催します

市と教育委員会の相互の連携を図り、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、7月21日(金)に令和5年度第1回渋川市総合教育会議を開催します。

1 概 要

渋川市は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、「渋川市総合教育会議」を設置しています。

令和5年度第1回会議の開催についてお知らせします。

2 日 時 令和5年7月21日(金) 午前10時から

3 場 所 渋川市役所第二庁舎201会議室

4 内 容

- (1) 渋川市が進める特色ある教育について
- (2) 市民に開かれた美術館のあり方について

5 出席予定者

市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員

【関係職員】

総合戦略部長、情報防災部長、福祉部長

教育部長、教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、美術館長

6 事務局 総合戦略部政策戦略課政策創造係

7 その他

会議は原則公開で行います。

参考

1 総合教育会議とは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)」が改正(平成27年4月1日施行)されました。

この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることと規定されています。

2 過去の開催状況

年 度	回数	議 題
平成31年度 (令和元年度)	第1回 (4月)	・新年度予算について ・新年度組織機構の見直しについて ・公立幼稚園・保育所の認定こども園化について ・小規模特認校について
	第2回 (10月)	・平成30年度決算概要報告 ・ふるさと渋川学生奨励金制度（案）について ・コミュニティスクールについて
令和2年度	—	—
令和3年度	第1回 (8月)	・コミュニティスクールについて ・今後の国際理解教育のあり方について ・ヤングケアラーについて
令和4年度	第1回 (6月)	・渋川市教育振興大綱策定方針（案）について ・コミュニティ・スクールについて ・小中一貫教育について
	第2回 (11月)	・第3期渋川市教育振興大綱（案）について ・ヤングケアラーについて
	第3回 (1月)	・第3期渋川市教育振興大綱（案）について ・コミュニティ・スクールについて ・公民館の今後のあり方について

■問い合わせ先

総合戦略部長 伊勢 久美子（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）

課長 鴻田 吉史（内線2420）

政策創造係長 坂本 和馬（内線2422）